就農準備セルフチェックチャート　～自分の課題を見つけよう～

A →
B ⇢

先輩農家としてアドバイスするよ！

Q. 目標とする農業は?
A 本格的な農業
B 副業、趣味程度

Q. 思い描く農業は？
A 副業として
B 趣味の延長

Q. 農地はありますか
A ある
B ない

技術相談は普及センターへ。販売先の相談は、近隣の公設市場や直売所をご紹介しますので、直接お問い合わせ下さい。

農地の購入・借受には農地法の制約があります。新たに取得する際は市町村の農業委員会へ相談をしてください。しかし、農地はすぐに見つかることは稀なことをご理解下さい。

農地がない場合、市町村の市民農園を紹介します。

Q. 独立と法人就職のどちらを希望しますか？
A 自立経営希望
B 法人へ就職希望

農業法人の求人情報や相談会を紹介します。お近くの市町村やJA、普及センターに来られるか、「就農相談カード」を送付いただければ、窓口である茨城県農林振興公社や県農業会議を紹介いたします（上記機関のホームページもありますのでご覧下さい）。

独立と法人就職の違い、メリットは理解できてる？

Q. 家族の同意は得ていますか
A はい
B いいえ

家族はあなたの就農で生活スタイルが変わります。他にも農作業のサポートや、保証人をお願いするケースもあり、様々な面で幅広く協力を求めることになります。
特に配偶者は農業を続けるうえで重要な支えとなります。農業を始めることについて、家族の理解と協力を得てください。

いい時も大変な時もあるだろうし、一生の仕事だから、家族の理解と支えがないと続けていくのは難しいよ。

Q. 作りたい作物は具体的に決まっていますか
A はい
B いいえ

研修などを通して、作りたい農作物を決めましょう。就農希望地が決まっている場合、就農地の主要作物が、生産者仲間も多く、お勧めです。
研修希望の場合、ホームページの就農相談カードを送付してください。

希望作物に合う地域を探すか、希望地に合う作物を選ぶか。作物も生き物だから「適地適作」はとても大切だ。

Q. 就農希望地は決まっていますか
A はい
B いいえ

就農先は希望品目の主産地がおすすめです。
稲敷地域に希望する農作物の産地がない場合、他地域での就農を勧めます。
稲敷の主な農作物は、ホームページ「稲敷地域の農業の概要」をご覧下さい。

Q. 作りたい作物は就農希望地で生産されていますか
A はい
B いいえ

1人での生産は販路の確保が難しくなります。
希望作物の栽培に不適なため、産地になっていない可能性も大です。
希望品目か就農地を見直すことを勧めます。

販売はある程度の量がないと安値になる。地域の主要作物なら仲間と出荷できるから経営的にもメリットが大きいよ。

Q. 農地はありますか
A はい
B いいえ

農地は法律知識も必要です。市町村の農業委員会に相談しましょう。
お勧めは、就農希望地の農家で研修しながら農地を探すことです。
研修中に周囲と顔見知りになり、農業の熱意を伝えて農地を探す方法が、最も効率がいいと思われます。
出荷調整の作業場や、農機をしまう場所も農地近くに確保しましょう。

知らない人に「農地を貸して！」と言われても、大事な財産だから急に簡単には貸せないよ。研修などで一生懸命頑張る姿を見せて、周囲から信頼を得る事が大切だ。

Q. 住居は農地近くですか
A はい
B いいえ

急な自然災害に素早く対応できないと、収穫が皆無になることもあります。
そのためにも農地の近くに住むのがお勧めです。

Q. 農業技術は習得できていますか
A はい
B いいえ

Q. どちらの研修を希望しますか
A 本格的な研修
B 短期間の体験

①農大営農塾での研修
②就農受入法人での研修
③農大・就農準備校への入学

※就農相談カードを送付して下さい。
研修相談会を行います。

①地域の農家で短期研修
②短期アルバイト（ヘルパー含む）

＜研修を希望しない方へ＞
農業経営には、基本的な栽培技術の他、出荷調整・販売・経理や申告など幅広い知識が必要です。
円滑な就農のために、ぜひ研修を考えてください。

研修する余裕はない！という人！知識も経験も未熟な人が稼げるほど農業は甘くないぞ。研修は仲間や先生に出会う貴重な機会でもある。成功のため、焦らず準備しよう！

＜就農準備が整っています＞
関係機関では様々な農業情報提供を行っています。一度関係機関と相談会を行いましょう。また、目標所得250万円の確保に向けた営農計画を立て、「認定就農者」になることを勧めます。

Q. 営農開始資金と生活資金は用意できていますか
A はい
B いいえ

Q. 当面必要な経費や生活費を把握していますか
A はい
B いいえ

農業は販売するまで無収入で、天候等で収支が大きく変動します。失敗や体調不良などのリスクにも備えが必要です。
生活費の準備について

天災で収穫無しの年もある。2年分の生活費は備えたい！

＜農業スタート！＞
引き続き農業の相談役として支援します。各種研修会も開催していますので、積極的に参加して下さい。

一緒に頑張ろう！

Q. 綿密な営農計画を立て、国から制度資金を借りますか
A はい
B いいえ

金融機関を交えた相談会を開催します。貸付には条件があり、審査に時間がかかることをご理解下さい。

必要資金を親族や金融機関などから準備しますが、調達可能な資金の範囲内で農業を始め、少しずつ拡大できるような計画を立ててみましょう。